

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護過程Ⅱ		介護福祉学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三木 春美
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の実際</li> <li>・チームアプローチ</li> <li>・介護過程の展開の理解</li> <li>・障害者の介護過程</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護プロセスが、ケアマネジメントの中のプロセスの一部であることを学び、そのプロセスでの介護福祉士としての役割や視点を習得しましょう。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		介護施設等で10年の実務経験、介護支援専門員6年の実務経験あり。		
時間外に必要な学修				
テキストを読む 復習として、ワークシートの整理を毎回行う(テキストのポイントの確認) 提出物準備行動				
回	テーマ	内容		
1	介護過程とケアマネジメントの関係性	ケアマネジメントとは ケアマネジメントの理念・目的 ケアマネジメントの構成要素 ケアマネジメントの流れ		
2	ケアプランと介護過程	ケアマネジメントと介護過程について ケアプランと個別援助技術		
3	チームとしての介護過程を展開する意義	個別援助計画の意義 チームアプローチ ケアカンファレンスの意義		
4	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	チームアプローチの必要性 専門職の連携 ケアマネジメントでのチームアプローチのイメージを理解 事例から「気づき」を学ぶ		
5	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	事例学習(チームの中で介護福祉士としての視点) 専門職としての視点 専門職の役割		
6	チームアプローチの実際	事例学習(介護福祉士と気づきを深める)		
7	利用者の生活と介護過程の展開	介護福祉士の仕事の魅力 学生の介護観を深める(グループワーク)		
8	利用者のさまざまな生活と介護過程	今までの事例を個々にポイントをあげ、「事例の概要」、「介護過程の展開」、「解説」物語的にまとめる(グループワーク)		
9	利用者のさまざまな生活と介護過程	前回(8コマ目)のグループワークのまとめを発表		
10	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例1、都会に住む1人暮らしの高齢者の生活支援事例の概要を把握		
11	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例1をアセスメントシートを作成 1日のタイムスケジュール作成 週間スケジュール作成		

回	テーマ	内容
12	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例1のアセスメントをICFで整理する
13	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例1の介護計画書を作成 介護の実施、評価を行う
14	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例1の解説、まとめ
15	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例2、離島出身の高齢者の在宅復帰支援 事例のが概要を把握

回	テーマ	内容		
16	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例1をアセスメントシートを作成 1日のタイムスケジュール作成		
17	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例2のアセスメントをICFで整理する		
18	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例2の介護計画書を作成 介護の実施、評価を行う		
19	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例2の解説、まとめ		
20	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例3、在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の生活支援 事例のが概要を把握		
21	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	「死生観」について 宗教について（グループワーク） 発表		
22	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	利用者、家族の気持ち（グループワーク） 発表		
23	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例3をアセスメントシートを作成 1日のタイムスケジュール作成		
24	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例3のアセスメントをICFで整理する		
25	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例3の介護計画書を作成 介護の実施、評価を行う		
26	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例3の解説、まとめ ターミナルケアでの介護福祉士としての役割を考える		
27	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例4、医療的な処置が必要な高齢者の生活支援 事例のが概要を把握 アセスメントシートを作成 1日のタイムスケジュール作成		
28	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例3のアセスメントをICFで整理する 介護計画書を作成 介護の実施、評価を行う		
29	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事例5、片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援 事例のが概要を把握 アセスメントシートを作成 1日のタイムスケジュール作成		
30	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 まとめ	事例3のアセスメントをICFで整理する 介護計画書を作成 介護の実施、評価を行う まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 中央法規		出席率 授業態度 課題・レポート  期末試験	20.0% 10.0% 10.0%  60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人間関係とコミュニケーションⅡ		介護福祉学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西岡 浩一
授業の概要				
介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでケアを展開するためのマネジメントの基礎を理解する。</li> <li>・人材育成や組織の運営・管理などのチーム運営の基本を理解する。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		特別養護老人ホーム、相談員(1年) 訪問介護事業所、管理者(4年)		
時間外に必要な学修				
テキストをよく読んでおくこと。				
回	テーマ	内 容		
1	ヒューマンサービスとしての介護サービス	オリエンテーション 介護サービスの特性		
2	介護現場で求められるチームマネジメント	マネジメントとチームマネジメント 介護福祉士の役割		
3	介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	ケアを展開するためのチームマネジメント 人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント 組織の目標達成のためのチームマネジメント		
4	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み	ケア実線の間や内容に応じて変わるチーム グループ・ダイナミクス、PM理論		
5	チームでケアを展開するためのマネジメント	情報を共有する 情報を統合し方針を明確にする 評価・修正の機会をつくる		
6	リーダーシップとフォロワーシップ	リーダーシップとフォロワーシップ 介護福祉士に求められる2つの役割		
7	介護福祉職のキャリアと求められる実践力	初任期、中堅期、ベテラン期		
8	キャリアパスとキャリアデザイン	キャリアパス、介護職員処遇改善加算、キャリアデザイン 生涯研修制度		
9	OJTとOff-JT	OJT(職務を通じた教育訓練) Off-JT(職務を離れた教育訓練)		
10	スーパービジョン	スーパービジョンとコンサルテーション 教育的機能、管理的機能、支持的機能		
11	自己研鑽に必要な姿勢	研修を活用する キャリア開発・キャリア支援に対する姿勢		
12	介護サービスを支える組織の構造	法人の理解、組織の階層構造 職種・職位、組織図、事業計画		
13	介護サービスを支える組織の機能と役割	コンプライアンス、理念や運営方針 教育・研修体制づくりと人間関係づくり		

回	テ ー マ	内 容		
14	介護サービスを支える組織の管理	介護業務等の管理 労務管理、設備・備品の管理 災害・非常事態の管理、地域連携・地域貢献		
15	まとめ テスト	まとめ 後期試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解」中央法規		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	20.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシー I		介護福祉学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	宮崎 克典
授業の概要				
コンピュータリテラシーについての基本を理解する				
授業終了時の到達目標				
Office2019を使って各種文書を作成できる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	パソコンや入力操作の基本	PCの起動、画面の説明、キーボードの打ち方、漢字変換など		
4~5	フォルダーやファイル操作の基本			
6~9	Word知識	入力操作、書式設定、表の作成、グラフィック要素		
10~14	Word演習	Word文書の作成		
15	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門				

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシーⅡ		介護福祉学科/2年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	宮崎 克典
授業の概要				
コンピュータリテラシーについての基本を理解する				
授業終了時の到達目標				
Office2019を使って各種文書を作成できる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	Excel知識	入力操作、書式設定、表の作成		
4~7	Excel演習	Excel文書の作成		
8	PowerPoint知識	入力操作		
9~14	PowerPoint演習	PowerPoint資料の作成		
15	まとめ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護の基本Ⅲ		介護福祉学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	川村 久恵
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携及び地域連携について理解し、ケアにおける連携の重要性を学ぶ</li> <li>・リスクマネジメントなど、利用者の安全に配慮した介護を実践する能力を養う</li> <li>・介護従事者の安全と健康管理について理解を深める</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の職種の機能と役割を知り、連携の意義が理解できる</li> <li>・利用者の安全および、介護従事者の安全に配慮できる方法を習得できる</li> <li>・介護従事者の安全と、自身の心身の健康管理の方法を取得できる</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大学病院(総合病院)での看護師経験16年以上、看護学校専任教員・講師10年以上、徳島労働局職業相談6年以上 【免許】看護師 介護支援専門員 カウンセラー 国家資格キャリアコンサルタント 介護教員養成講習修了 日本語教師養成講座修了		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する グループワークの積極的な参加と事前準備				
回	テーマ	内 容		
1	介護における安全の確保とリスクマネジメント①	介護における安全の確保		
2	介護における安全の確保とリスクマネジメント②	リスクマネジメントとは何か		
3	介護における安全の確保とリスクマネジメント③	ルールや約束事を守ることの重要性		
4	介護における安全の確保とリスクマネジメント④	福祉サービスに求められる安全・安心		
5	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑤	事故防止のための対策①事例によるGW		
6	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑥	事故防止のための対策②消費者被害		
7	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑦	事故防止のための対策③		
8	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑧	感染に関する知識①		
9	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑨	感染に関する知識② 手洗い等演習		
10	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑩	感染に関する知識③		
11	介護における安全の確保とリスクマネジメント⑪	安全な薬物療法を支える視点・連携		
12	協働する多職種の役割と機能①	多職種連携・協働とは		
13	協働する多職種の役割と機能②	多職種連携・協働の効果		



回	テ ー マ	内 容
14	協働する多職種の役割と機能③	多職種連携・協働のチーム作り
15	協働する多職種の役割と機能④	多職種連携に求められるスキル①

回	テーマ	内容		
16	協働する多職種の役割と機能⑤	多職種連携に求められるスキル②傾聴演習		
17	協働する多職種の役割と機能⑥	保健・医療・福祉職の役割と機能①		
18	協働する多職種の役割と機能⑦	保健・医療・福祉職の役割と機能②		
19	協働する多職種の役割と機能⑧	多職種連携・協働の実際①		
20	協働する多職種の役割と機能⑨	多職種連携・協働の実際②		
21	介護従事者の安全①	健康管理の意義と目的		
22	介護従事者の安全②	こころの健康管理①		
23	介護従事者の安全③	こころの健康管理②アンガーマネジメント		
24	介護従事者の安全④	こころの病気		
25	介護従事者の安全⑤	職場で取り組むこころの健康管理 リラクゼーション		
26	介護従事者の安全⑥	身体の健康管理①		
27	介護従事者の安全⑦	身体の健康管理②		
28	介護従事者の安全⑧	労働環境の整備 ①		
29	介護従事者の安全⑨	労働環境の整備 ②		
30	まとめ・期末試験	1から29回までのまとめ 期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新 介護福祉士養成講座4 介護の基本 Ⅱ 中央法規 事例に学ぶ介護リスクマネジメント		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生活支援技術Ⅲ-①		介護福祉学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松村 雅史
授業の概要				
介護現場に必要な、レクリエーションについて演習を通して理解し、レクリエーションの意義について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
レクリエーションを対象者をもとに適切なものを設定することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション レクリエーションとは	授業の内容説明 レクリエーションとは		
2~ 14	レクリエーションの実施 季節の歌	レクリエーション演習 季節の歌		
15	まとめ	前期のまとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 課題・レポート	70.0% 30.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生活支援技術Ⅲ-②		介護福祉学科/2年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位(30時間)	必須	松村 雅史
授業の概要				
介護現場に必要な、レクリエーションについて演習を通して理解し、レクリエーションの意義について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
レクリエーションを対象者をもとに適切なものを設定することができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	レクリエーション計画	企画、準備		
5~14	レクリエーションの実施、振り返り	計画したレクリエーションの実施と振り返り		
15	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生活支援技術Ⅲ-③		介護福祉学科/2年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位(20時間)	必須	川村 久恵
授業の概要				
自立に向けた居住環境の整備について学ぶ。 福祉用具を使用することで、介護者と対象者の双方にとってメリットがあることを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
ニーズに応じて居住環境を整備することができる。 適切な福祉用具を活用することができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	住まいの役割と機能	住まいと住環境		
2	生活空間	生活の場、環境		
3	快適な室内環境	室内環境のポイント		
4	安全に暮らすための生活環境	安全な生活環境とは		
5	高齢者・障害者の住まい	高齢者の住まい 障害者の住まい		
6	他職種との連携	自立に向けた住環境のための他職種連携		
7	生活支援における福祉用具の重要性	福祉用具と生活		
8	福祉用具の種類	さまざまな福祉用具		
9	適切な福祉用具を選ぶための視点	利用者に応じた福祉用具		
10	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新 介護福祉士養成講座6・7・8 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 中央法規		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 20.0% 70.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生活支援技術Ⅳ		介護福祉学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	2単位(40時間)	必須	大石 英雄
授業の概要				
栄養・調理に関する実習を行い、具体的な家庭生活支援能力を養う。				
授業終了時の到達目標				
基本的な技能を習得し、調理に関する家事の介護ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1～ 2	家事の援助と調理 調理の基本	調理の基本		
3～ 18	調理実習	調理実習		
19～ 20	調理実習 まとめ	調理実習 まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護過程Ⅲ		介護福祉学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三木 春美
授業の概要				
介護過程の展開 介護過程の実践的展開 アセスメントツール 障害者の介護過程				
授業終了時の到達目標				
ニーズの優先順位を考えることができ、そのニーズに応じた介護サービスや制度を選択でき、介護過程の展開あできる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		介護施設10年の実務経験、介護支援専門員6年の実務経験あり。		
時間外に必要な学修				
教科書を読む				
回	テーマ	内容		
1	介護過程の実践的展開	介護過程の実践的展開の意義、目的、構成		
2	介護過程の展開	ICFを十分に理解する		
3	介護過程の展開	事例から介護過程の展開を学ぶ(グループワーク)		
4	介護過程の展開	3コマ目のグループワークの発表		
5	「介護過程」の展開の実際	事例1、グループホームにおける認知症高齢者の事例 フェイスシートから、利用者をイメージできる		
6	「介護過程」の展開の実際	事例1アセスメントシートに情報をまとめる		
7	「介護過程」の展開の実際	事例1をICFにて整理する アセスメント表を作成		
8	「介護過程」の展開の実際	介護計画書を作成する		
9	「介護過程」の展開の実際	実施評価表から評価を行う		
10	「介護過程」の展開の実際	事例2、脳性麻痺のある男性の事例 フェイスシートから、利用者をイメージできる		
11	「介護過程」の展開の実際	事例2アセスメントシートに情報をまとめる		
12	「介護過程」の展開の実際	事例2をICFにて整理する アセスメント表を作成		
13	「介護過程」の展開の実際	介護計画書を作成する		
14	「介護過程」の展開の実際	実施評価表から評価を行う		

回	テ ー マ	内 容
15	「介護過程」の展開の実際	事例3、在宅における脳血管疾患のある女性の事例 フェイスシートから、利用者をイメージできる



回	テーマ	内容		
16	「介護過程」の展開の実際	事例3 アセスメントシートに情報をまとめる		
17	「介護過程」の展開の実際	事例3をICFにて整理する アセスメント表を作成		
18	「介護過程」の展開の実際	介護計画書を作成する		
19	「介護過程」の展開の実際	実施評価表から評価を行う		
20	「介護過程」の展開の実際	事例4、介護老人福祉施設におけるターミナル期の女性の事例 フェイスシートから、利用者をイメージできる		
21	「介護過程」の展開の実際	事例4 アセスメントシートに情報をまとめる		
22	「介護過程」の展開の実際	事例4をICFにて整理する アセスメント表を作成		
23	「介護過程」の展開の実際	介護計画書を作成する		
24	「介護過程」の展開の実際	実施評価表から評価を行う		
25	実習終えての振り返り	実習で学んだことを整理（個人ワーク）		
26	実習終えての振り返り	実習で学んだことを整理（グループワーク） 発表		
27	実習終えての振り返り	実習での利用者情報をもとにアセスメントシート作成		
28	実習終えての振り返り	ICFを活用し、アセスメントを整理する		
29	実習終えての振り返り	介護計画を立案		
30	単元のまとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 中央法規		出席率 授業態度 課題・レポート  期末試験	20.0% 10.0% 10.0%  60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護総合演習Ⅱ-①		介護福祉学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	福原 里奈
授業の概要				
介護実習Ⅱ-②において、介護過程を展開できる能力を養う。 実習を振り返り、事例検討を行う中で、科学的な介護の実践について理解する。				
授業終了時の到達目標				
介護実習Ⅱ-②において、適切に介護過程を展開できる。 エビデンスの構築につながる介護実践の科学的探究の意義と方法を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		看護師として8年の実務経験あり		
時間外に必要な学修				
事前学習 実習記録の作成				
回	テーマ	内容		
1	介護実習Ⅱ-②の意義と目的	介護実習Ⅱ-②の意義・目的		
2	介護過程について	介護過程について 様式・書き方		
3	多職種連携とチームケア	施設における多職種連携の在り方 チームケア		
4	介護過程の展開①	情報収集		
5	介護過程の展開②	アセスメント		
6	介護過程の展開③	介護計画の立案		
7~10	事例検討	担当利用者の事例検討		
11~12	報告会準備	実習報告会の準備		
13~15	実習報告会	介護実習Ⅱ-②の実習報告会		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新・介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 中央法規 適宜資料 プリント配布		出席率 授業態度 実習評価	30.0% 20.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護総合演習Ⅱ-②		介護福祉学科/2年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西岡 浩一
授業の概要				
介護実習Ⅱ-③において、介護過程を展開できる能力を養う。 実習を振り返り、事例検討を行う中で、科学的な介護の実践について理解する。				
授業終了時の到達目標				
介護実習Ⅱ-③において、適切に介護過程を展開できる。 エビデンスの構築につながる介護実践の科学的探究の意義と方法を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		特別養護老人ホーム、相談員(1年) 訪問介護事業所、管理者(4年)		
時間外に必要な学修				
不明な点は各自で調べること。 書類を期日までに作成すること。				
回	テーマ	内容		
1	介護実習Ⅱ-③の意義と目的	介護実習Ⅱ-③の意義・目的		
2	介護過程について	介護過程について 様式・書き方		
3	多職種連携とチームケア	施設における多職種連携の在り方 チームケア		
4	介護福祉士の倫理観	介護福祉士の倫理 倫理綱領		
5	介護過程の展開①	情報収集		
6	介護過程の展開②	アセスメント		
7	介護過程の展開③	介護計画の立案		
8	介護過程の展開④	モニタリングと評価		
9~ 10	介護実習Ⅱ-③の振り返り	まとめと振り返り		
11~ 12	事例検討	担当利用者の事例検討		
13	報告会準備	実習報告会の準備		
14~ 15	実習報告会	介護実習Ⅱ-③の実習報告会		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
資料配布		出席率 授業態度 課題・レポート	20.0% 20.0% 60.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
こころとからだのしくみⅡ		介護福祉学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	川村 久恵
授業の概要				
基礎知識をもとに利用者の身じたくや移動、食事等の生活を支える介護実践を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
移動、身じたく、食事の生理的・心理的意味を理解し、介護実践に結びつけた援助の方法を考えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大学病院(総合病院)看護師経験16年以上、看護学校講師10年以上、徳島労働局職業相談6年以上 【免許】看護師免許 介護支援専門員 国家資格キャリアコンサルタント 日本語教師 養成講座修了 介護教員養成講座修了		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポートの作成</li> <li>・單元ごとの復習</li> <li>・国家試験問題の解答</li> </ul>				
回	テーマ	内 容		
1	3章 移動に関連したこころとからだのしくみ①	移動のしくみについて		
2	3章 移動に関連したこころとからだのしくみ②	移動に関連したこころとからだのしくみ		
3	3章 移動に関連したこころとからだのしくみ③	心身の機能低下が移動に及ぼす影響		
4	3章 移動に関連したこころとからだのしくみ④	変化の気づきと対応		
5	4章 身じたくに関連したこころとからだのしくみ①	身じたくのしくみ		
6	4章 身じたくに関連したこころとからだのしくみ②	身じたくに関連したこころとからだのしくみ		
7	4章 身じたくに関連したこころとからだのしくみ③	口腔衛生		
8	4章 身じたくに関連したこころとからだのしくみ④	心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響		
9	4章 身じたくに関連したこころとからだのしくみ⑤	変化の気づきと対応		
10	5章 食事に関連したこころとからだのしくみ①	食事のしくみ		
11	5章 食事に関連したこころとからだのしくみ②	食事に関連したこころとからだのしくみ		
12	5章 食事に関連したこころとからだのしくみ①	摂食嚥下の5分類と内容		
13	5章 食事に関連したこころとからだのしくみ①	心身の機能低下が食事に及ぼす影響		

回	テーマ	内 容		
14	5章 食事に関連したところとからだのしくみ①	変化の気づきと対応		
15	まとめ 前期末試験	1から15までのまとめ・復習 前期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新	介護福祉士養成講座11 ところとからだのしくみ 中央法規 介護福祉士国家試験合格度ドリル 中央法規	出席率 授業態度 期末試験	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
こころとからだのしくみⅢ		介護福祉学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	川村 久恵
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識をもとに利用者の入浴・清潔保持、排泄、睡眠等の生活を支える介護実践を学ぶ</li> <li>・死にゆく人の機能的・身体的・心理的变化を学び、家族を含めた総合的な支援について学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持、排泄、休息・睡眠の生理的・心理的意味を理解し、介護実践に結びつけた援助の方法を考えることができる</li> <li>・終末期のこころとからだの変化を理解し、家族を含めた支援を考えることができる。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大学病院(総合病院)での看護師経験16年以上、看護学校講師10年以上、徳島労働局職業相談6年以上 【免許】看護師 介護支援専門員 国家試験キャリアコンサルタント カウンセラー 介護教員養成講習修了 日本語教師養成講座修了		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する</li> <li>・国家試験問題を自主的に解く</li> <li>・既習単元の復習</li> </ul>				
回	テーマ		内 容	
1	6章 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ①		入浴・清潔保持のしくみ	
2	6章 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ②		心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響	
3	6章 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ③		変化の気づきと対応	
4	7章 排泄に関連したこころとからだのしくみ①		排泄のしくみ	
5	7章 排泄に関連したこころとからだのしくみ②		心身機能の低下が排泄に及ぼす影響	
6	7章 排泄に関連したこころとからだのしくみ③		変化の気づきと対応	
7	8章 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ①		休息・睡眠のしくみ	
8	8章 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ②		心身機能の低下が休息・睡眠に及ぼす影響	
9	8章 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ③		変化の気づきと対応	
10	9章 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ①		「死」の捉え方	
11	9章 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ②		「死」に対するこころの理解	
12	9章 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ③		終末期から危篤状態、死後のからだの理解	
13	9章 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ④		終末期における医療職との連携	

回	テ ー マ	内 容		
14	9章 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ①	家族支援		
15	まとめ・後期末試験	1～15回までの復習・ポイントの整理 後期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・最新 介護福祉士養成講座 1 1 ところ とからだのしくみ 中央法規 ・介護福祉士国家試験合格ドリル 中央法規		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 10.0% 80.0%	



作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
医療的ケア		介護福祉学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	34回	2単位(68時間)	必須	川村 久恵
授業の概要				
医療的ケアを行う際に必要な基礎的知識を理解する。 喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識を学び、実施手順を理解する。				
授業終了時の到達目標				
医療的ケアをめぐる諸制度について理解できる。 医療的ケアの安全な実施と感染予防について理解するとともに、健康状態の把握ができる。 喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識および、基本的な実施方法・留意点を理解している。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	人間と社会1	個人の尊厳と自立、医療の倫理		
2	人間と社会2	利用者や家族の気持ちの理解		
3	保健医療制度とチーム医療1	制度と法律		
4	保健医療制度とチーム医療2	チーム医療と連携		
5	安全な療養生活1	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施		
6	安全な療養生活2	救急蘇生が必要な時		
7	安全な療養生活3	救急蘇生法		
8	清潔保持と感染予防1	感染予防		
9	清潔保持と感染予防2	職員の感染予防		
10	清潔保持と感染予防3	療養環境の清潔、消毒法		
11	清潔保持と感染予防4	滅菌と消毒		
12	健康状態の把握1	身体・精神の健康		
13~ 15	健康状態の把握2	バイタルサイン		
16	健康状態の把握3	急変状態		

回	テーマ	内 容		
17	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順1	呼吸の仕組みとはたらき		
18	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順2	喀痰吸引とは		
19	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順3	喀痰吸引で用いる器具・機材		
20	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順4	利用者への説明と同意		
21	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順5	喀痰吸引の実施手順①		
22	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順6	喀痰吸引の実施手順②		
23	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順7	喀痰吸引の実施手順③		
24	経管栄養の基礎的知識と実施手順1	消化器系のしくみとはたらき		
25	経管栄養の基礎的知識と実施手順2	経管栄養とは		
26	経管栄養の基礎的知識と実施手順3	注入する内容に関する知識		
27	経管栄養の基礎的知識と実施手順4	子どもの経管栄養		
28	経管栄養の基礎的知識と実施手順5	経管栄養に関係する感染と予防		
29	経管栄養の基礎的知識と実施手順6	リスクと注入後の安全確認		
30	経管栄養の基礎的知識と実施手順7	経管栄養の実施手順①		
31	経管栄養の基礎的知識と実施手順8	経管栄養の実施手順②		
32	経管栄養の基礎的知識と実施手順9	経管栄養の実施手順③		
33	まとめ	まとめ		
34	まとめ・試験	まとめ 試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新 ア	介護福祉士養成講座 15 医療的ケ 中央法規	出席率 授業態度 期末試験	10.0% 20.0% 70.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
医療的ケア（演習）		介護福祉学科/2年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	6回	0単位（12時間）	必須	川村 久恵
授業の概要				
喀痰吸引および経管栄養を安全・適切に実施するための技術を身につける。				
授業終了時の到達目標				
喀痰吸引を安全・適切に実施することができる。 経管栄養を安全・適切に実施することができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	留意事項	清潔・不潔、感染予防		
2	喀痰吸引演習1	喀痰吸引の留意点・記録		
3	喀痰吸引演習2	喀痰吸引（口腔、鼻腔、気管カニューレ）		
4	経管栄養演習1	経管栄養の留意点・記録		
5	経管栄養演習2	経管栄養（胃ろうまたは腸ろう、経鼻経管栄養）		
6	救急蘇生法演習	救急蘇生法、まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新 ア	介護福祉士養成講座 15 医療的ケア 中央法規	出席率 授業態度 期末試験	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		介護福祉学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	選択	岡村 美咲
授業の概要				
就職活動を控え、これから、社会人になるにあたって、必要なスキルを身につける 3KAN教育の後半として、就職活動を通して社会人に必要なスキルを身につける				
授業終了時の到達目標				
1. 3KAN教育 (1. 自己効力感 2. 成長実感 3. 学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2. 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3. 目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	企業訪問/就職試験について/ 企業が欲しい人材/自己分析	企業が求める人材の理解と自分を理解する		
2	模擬面接①	グループに分かれて教室にて模擬面接を実施する。		
3	模擬面接②	グループに分かれて教室にて模擬面接を実施する。		
4	グループディスカッション・ワーク	NASAゲーム、ノベルティ決めを用いてディスカッションを体験する。 森ゼミ資料のディスカッションを用いて就職研修のディスカッションを行う		
5	就職や社会におけるSNSの活用 ・ SNSを就職活動に役立てる方法と注意点について理解する ・ SNSが扱う個人情報や社会でどう関わっているのかを、法律的な観点から理解する  ・ 「著作権」や「肖像権」への意識を高める。 ・ SNSやWeb上で写真や動画を扱う際の注意点を理解する。	(前半) 1. SNSとはどのようなものか 2. SNSを利用した就職活動の方法例 3. SNSの利用を誤った場合の失敗例 (後半) ・ 著作権とは? ・ 肖像権とは? ・ SNSへ画像や動画を投稿する際の注意点		
6	新聞を通して、情報の入手の仕方 や、新聞の読み方を学ぶ  外部講師(徳島新聞社)	①仕事に必要な基礎能力とは ②基礎能力向上に新聞がなぜ役立つか ③新聞と他メディアの違い ④慣れない新聞の読み方 ⑤1日10分で基礎能力のトレーニングになる新聞の使い方		

回	テ ー マ	内 容		
7	社会に出た際に必要となる知識を学び理解する（働くことの基礎知識～労働・給与・税金～） 外部講師（小西先生）	給与計算の基礎知識 ・給与に関する法律 ・給与支払いの5原則 ・給与明細の見方 ・残業時間の計算 ・法定労働時間と変形労働時間制 ・残業時間を計算する ・時間外労働の割増率 ・税金について		
8	社会人と学生の違いを理解する 就職CC	社会人になるということ 学生と社会人の違い		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語Ⅲ		介護福祉学科/2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	選択	川村 久恵
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JLPT試験に合格するための実践問題(語彙・文法・読解)を解く</li> <li>・ レベル別の聴解問題を解く</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
受験レベルに応じた実践問題を解くことで、JLPTN4、N3、N2に合格できる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	総合病院看護師経験16年以上、看護学校専任教員・講師10年以上、徳島労働局職業相談6年以上、日本語教師2年以上【免許】看護師 介護支専門員 カウンセラー 国家資格キャリアコンサルタント 介護教員養成講習修了 日本語教師養成講座修了			
時間外に必要な学修				
N2、N3、N4レベル語彙・文法を自主的に学習 ホームワークに取り組む 読解問題をたくさん解く				
回	テーマ	内 容		
1	レベル別模擬試験①	言語知識試験		
2	レベル別模擬試験① 実践問題	聴解試験 必修パターン語彙・文法問題N2 直前対策問題N3		
3	実践問題N2、N3、N4	言語知識(文字・語彙、文法)		
4	実践問題N2、N3、N4	言語知識(読解) 聴解問題		
5	実践問題N2、N3、N4	言語知識(文字・語彙、文法)		
6	実践問題N2、N3、N4	言語知識(読解) 聴解問題		
7	実践問題N2、N3、N4	言語知識(文字・語彙、文法・読解)		
8	模擬試験②	言語知識(文字・語彙、文法・読解)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語能力試験直前対策N2、N3 TRYトライ日本語能力試験N4		出席率 授業態度 課題・レポート	50.0% 40.0% 10.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
就職実務		介護福祉学科/2年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	選択	西岡 浩一
授業の概要				
就職関連書類作成 自己PR作成、発表 面接練習 グループワーク				
授業終了時の到達目標				
1. 間もなく始まる就職活動について志気を高める 2. 就職活動に必要な心構えをしっかりと持つ 3. プレゼンテーションがうまくいくよう、立ち居振る舞いから応用内容までの完成を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動機づけ			
2	挨拶 立ち居振る舞い・面接ロープレ			
3	学科プログラム			
4	学科プログラム			
5	学科プログラム			
6	グループワーク	NASAゲーム		
7	学科プログラム			
8	面接練習	自己PR発表		
9	面接練習			
10	グループワーク	グループディスカッション 千本ノック		
11~ 14	模擬面接			
15	グループワーク	グループディスカッション		
16~ 17	校内合同企業セミナー			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職の手引き		授業態度 課題・レポート	60.0% 40.0%	

回	テ ー マ	内 容		